

神戸医療生協支援ニュース

2011年4月 14日 第18号

■現地レポート 4/13

<中井看護師>

今日回った避難所の山王公民館は、日中はほとんどの方が仕事に行ったり片付けに行ったりで、残っている方は子どもとお年寄りが多かったです。

元々90人規模なので、診察コーナーと各戸の訪問と合わせても、先生が診察したのは軽症者数人でした。介護の必要な高齢者もこの避難所にはおられず、みなさんなんとか杖歩行くらいは出ています。子どもと

走り回っていました。つばさのみんながくれた風船大活躍です！あんまりお風呂は入れていないので、髪や皮膚、洋服がどの子どももあまり清潔とはいえない状態でした。お風呂は自衛隊の駐屯地に行くのですが、高齢者はその移動が難しかったりするので、入れていない人もいそうです。避難所本部の方から要望があれば、公民館のシャワー室で介助浴をするかもしれません。(公民館のシャワーはあまり広くないので、避難所の人には開放していないそうです。ケアはしてあげたくても、本部を通してからでないと出来ないの、少し被災者のニーズとタイムラグは生じてしまいます。)食事は支給されるのが三食パンらしく、かなり辛そうでした。白いご飯が食べたい気持ち、食いしん坊の私にはすごく共感出来ました。

今日はシャワーにも入れて、私自身はわりと無理なく働けていると思います。体調も良いです。

<中村 事務>

本日13日は、多賀城文化センターというところに行ってきました。支援内容は診療(健康相談?)、回診、足浴でしたが、引き継ぎの関係で事務局になってしまい、ほとんど裏方さんで、しかも状況が掴めていないので、基本的に役立たずでした。明日からは今日掴めた流れをフル活用して、チームの皆さんが動きやすいように立ち回りしたいと思います。足浴に来られてる方の中には、常連さんもできていて、「会いにきたよお～」とにこやかに来られる方や、涙を流して喜ばれる方など、とてもやりがいがある支援だと思いました。

一方で、診療の方では、近医が再開されてきたこともあり、本来なら、近医にバトンタッチしていかないといけない状況ですが、どうしても目の前の被災者の方(患者さん)を助けたいという思いが勝ってしまい、難しい判断を迫られる状況が出てきています。

そんな中、方向性としては医療支援を連休までに終息させていくことで避難所との話が進んでいるみたいで、それに伴い、足浴もなくなっていきそうな状況です。なににせよ、今回の支援日程である16日までは、今の体制でいくらしいので、精一杯頑張りたいと思います。

□5月の支援について

県連では、以下のように決まりました。対策本部でも今後検討しますが、各分野での検討も宜しくお願い致します。

業種	支援日と要請数(県連で)	神戸での支援
医師	5/22~6/2	協同から2名(25日~29日)の予定で進捗してます
看護師	通して2名	
事務・技術	通して5名	神戸の担当は5月19日(木)~26日(木)の8日間です
介護職	5/22~6/2 2名	

